

## 大作西沢(仮称)

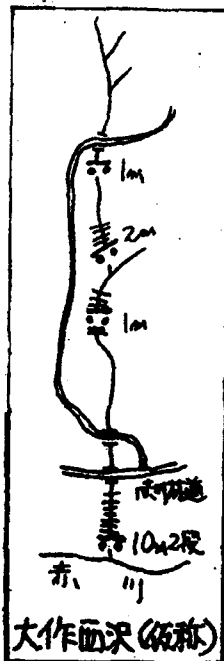
1983年9月17日  
(記)

9:05遊行開始。赤川に10mの滝をかけて合流している支沢であるし、その上しばらくはナメが続いているのをみれば、先にも何か1つくらいは見所があるのではないかとあわい期待をいだいたのだが、結局何も出てこなかった。

9:25沢が細い溝状になり、ブッシュもかぶさってきたので遊行終了とする。

(記)

【タイム】 出合(9:05)→遊行終了(9:25)



## 上黒森沢(仮称)

1983年7月30日  
(記)

円部地区の対岸に、黒森山に突き上げる2本の小沢がある。名前がはっきりしないので、ここでは上黒森沢及び下黒森沢と呼んでおくことにする。沢の距離は短いですが、かなりの高度差があるので、滝があるのではないかと、期待をもって入谷する。

12:50遊行開始。歩きはじめるとすぐゴルジュ帯となり、滝がかかって険悪な感じとなる。まず最初は5m。斜瀑でフリクションがよくきき、直登できる。続いて4m。右岸にホールド多く、これも直登である。小滝を越えて5m2段の滝。ここは左岸をシャワーで突破する。あとは小滝となってゴルジュ帯は終わった。時間にして20分とかからなかったが、結構楽しい所であった。

この先は荒れた平凡な沢筋が続く。土砂が至る所に押し出されてきている。途中溜沢となる部分もあり、退屈になってきた頃、ようやく岩質が変わって滝が出てきた。5m滝。直登して上に出るとすぐに二俣。左俣ヘルートをとる。

あとはナメと小滝の連続である。5mクラスが2本と、10mクラスが1本。いずれも直登して越える。もう源流帯で水量も極少となってきて、黒森山北面に広がる伐採地へ出る。遊行終了13:50。

【タイム】 出合(12:50)→遊行終了(13:50)